



東陽病院 鈴木健士 医師

光町のみなさんこんにちは。先月から糖尿病について話を始めましたが、今月はその続きをお話ししたいと思います。

糖尿病という病気は、初期にはあまり症状がありません。尿に糖分が大量に出ると尿の量も多くなり、脱水状態になるので、のどが渇いて水分を多く取るようになります。また、エネルギー源の糖分が出て行ってしまい吸収されにくくなってしまいうため、急にやせていくこともあります。このような症状が出る人もいます。全く無症状で検診で指摘されて初めて気付く方も非常におおいです。

検診で糖が高いと言われたけれど特に症状もないし全く元気だからそのまま放っておいているなんて人、いませんか？糖尿病は症状がなくても体の中でひそかに進行しているかも知れませんよ！そしてこの症状がないというのが一番の「くせもの」なのです。

誰でも痛いなり何なりの症状があれば医者にかかるとか、薬をのむとかその症状を取り除くよう対処します。しかし症状がなければ気がきもしないし、また検診でいわれたとしてもあまり気にもしないという事になりがちです。誰だって薬を飲



み続けるのは嫌ですから糖尿病だと言われて薬をの始めた人の中にも「でもやっぱり症状がないから」と薬をのむ事をやめてしまう人もいます。そしてそのままほとんど病気は進行していくのです！

では、糖尿病はあまり症状も出さないあまり怖くない病気なのでは？答えは「ノー」です。糖尿病は全身の細かい血管を侵します。特にやられやすいのが腎臓、眼、神経といわれます。腎臓が障害されると尿が出にくくなったり、むくみが出たりします。そしてその一度悪くなった腎臓を元に戻すことは出来ません。多少の機能の改善が期待出来る程度です。眼の症状も急激に出現することがあります。大した前触れもなく突然網膜（カメラのフィルムにあたる眼の奥にある膜）に出血を起こすこともあります。そうなるから「何とかしてくれ」と言われても視力が少しは戻る事が期待出来るかも知れない、なんていう返事しか出来ないのです。神経障害でしびれや痛みで長年つらい思いをしている人も多いのです。みなさんはこんな糖尿病の恐ろしい素顔を、御存知だったでしょうか？

大分恐ろしいことばかりを話しましたが、この病気のもう一つの顔は、うまくコントロールさえしていれば、全く息災でいられるということですね。何の症状もなく生活できるのです。怒らせると奥の方でも恐ろしい事が起きているが、うまくつきあえば仲良く共存出来る。何だか女のひとと同じかなんていったら怒られてしまうでしょうか。

# 健康へのメッセージ

シリーズ 23

## 糖尿病の話

### つづき

症状がない「くせもの」  
うまくコントロール  
することが大事

## おはなしかい

小さい子をお持ちのお父さん・お母さんへ

絵本は、子供が自分で読む本ではなく、子供達に読んであげる本です。耳から聞こえる温かく愛情のこもったやさしい声が、子供たちを安心させ、たった一冊の本によって親子の絆は、より深められるのです。字が読めるから自分で読みなさいと言わずに、内容のしっかりしたよい絵本をぜひ読んであげてほしいと思います。

図書館では、毎月第1・3土曜日に、そんなおすすめできるたくさんの絵本の中から、子供たちに読み聞かせをする「おはなしかい」を行っています。ぜひ、おはなしのろうそくがともるおはなしの部屋へ来てみてはいかがでしょうか。

**お知らせ**  
○10月8日(日)は、町民体育祭のため臨時休館といたします。  
○11月3日(金)「文化の日」は、1周年記念として開館いたします。



(10月のおはなしかい)  
7日(土) 午後3時から  
「そらいろのたね」他  
21日(土) 午後3時から  
「いたずらねこ」他  
場所＝おはなし室

ほんの森  
＝ 町立図書館 ＝  
☎ 3311

### 10月 ハイビジョンシアターのご案内

- 15日(日) 手塚治虫アニメ「ボーダーブラネット」  
10:30・14:00上映
- 22日(日) アニメ映画「バリバリ伝説」  
10:30・14:00上映
- 29日(日) アニメ映画「のぞみウィッチィズ」  
10:30・14:00上映

